

燕市ゆかりの偉人マンガ「鈴木文台」が完成

— 私塾「長善館」創設者の教えを描き、郷土愛の醸成を図ります —

大河津分水建設には、私塾「長善館」の多くの門下生たちが活躍しました。このたび通水100年を記念して、1,000人を超える人材を育んだ長善館の初代館主鈴木文臺をモチーフにした偉人マンガ「鈴木文台」を3月10日に発行します。完成したマンガは、4月に市内の全小中学校に配付するとともに、小学4年生の社会科や道徳の副教材として活用し、マンガを通して文臺の教育への情熱や長善館の教えなどを学ぶことで、郷土愛の醸成を図ります。なお、一般販売は令和5年夏頃を予定しています。

【燕市ゆかりの偉人マンガ「鈴木文台」の概要】

- 1.発行日：3月10日（金）
- 2.仕様：B6版、109ページ
- 3.配置場所：①（3月）燕図書館、吉田図書館、分水図書館
つばめ電子図書館
②（4月）市内小中学校
- 4.作画：児玉直樹氏（漫画家。新潟市在住）
NHK新潟放送局のキャラクターデザインや
県内企業のマンガ制作、4コマ漫画等の執筆など
多方面で活躍している。
日本アニメ・マンガ専門学校（新潟市中央区）
の元講師。
- 5.制作期間：令和4年5月から令和5年2月までの約10カ月
- 6.編集監修：燕市偉人漫画制作実行委員会
（筑波大学教授、長善館史料館長、地域識見者、
小学校長、図書館司書など）
- 7.その他：・今回制作した偉人マンガは公共施設のみの配置となります。
・一般販売は令和5年夏頃を予定しています。
詳細については、決まり次第お知らせします。



マンガのイメージ